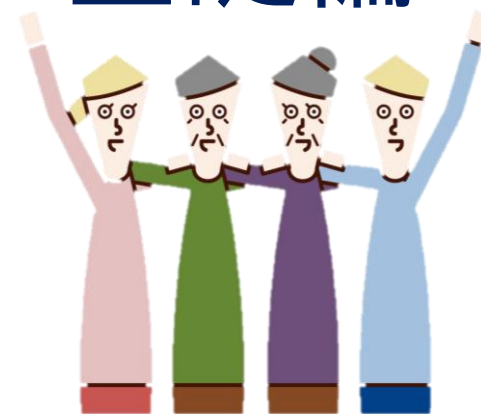


アドバンス・ケア・プランニング研修会 多職種に共通する支援姿勢を学ぶ



本研修会は、厚生労働省「本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 在宅版 E-FIELD HOME」のタスクフォース長である山岸暁美先生を講師に迎え、在宅での療養生活を支える医療と介護の多職種が「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を理解し、アドバンス・ケア・プランニング支援の基礎を実践的に身につけることを目標としています。

在宅療養の場は自宅、施設、時には病院に移行します。医療・介護の多職種は、ご本人との対話やチームでの話し合いを重ね、その思いをつなぎ、所属や専門性の垣根を越えて、ともにアドバンス・ケア・プランニングを実践していくことが大切です。ぜひご参加ください。

※本研修会は、日本医師会生涯教育制度 CC13：医療と介護および福祉の連携・2.5単位に該当します。

■プログラム（2日間とも同一です）



第1部 講義 「誰のための、何のための ACPなのか」

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室

一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

山岸 暁美 氏

第2部 グループワーク 事例をもとにチームで考えます。

■日時

- ①令和7年 1月25日(土)
 - ②令和7年 1月30日(木)
- いずれも、14:00～17:00

■対象者

名古屋市の在宅療養者の支援に携わる
医療と介護の多職種
(市内事業所に在勤)

■場所 名古屋市医師会館 6F講堂
(東区葵1-4-38)

■定員 78名/日

※申込者多数の場合は職種バランスを考慮し
人数を調整いたします。

■申込方法

下記Googleフォームにて受講希望日を選択のうえ、お申込みください。

申込〆切：12月25日(水)

申込みURL、及び2次元コード

<https://forms.gle/59X8adwFvnP3SvW58>

